

13 年 金 制 度

(1) 国民年金

(令和 8 年度予算額 21,322 千円)

公的年金は、シニア世代の生活を支える重要な役割を担っています。また、現役世代に対しても、重度の障害を負った場合や、家計の担い手が亡くなった場合の保障を行っています。

国の制度である国民年金業務においては、国や日本年金機構との協力・連携を強化し、制度周知や利便性の向上に努めています。

○被保険者数の推移

(人)

		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
第 1 号被保険者		10,250	9,904	9,641	9,433	9,229
第 3 号被保険者		3,482	3,176	3,007	2,760	2,550
任意加入被保険者	60 歳未満	11	14	18	16	18
	60 歳以上	62	69	80	81	80
合 計		13,805	13,163	12,746	12,290	11,877

○年金受給の状況

	2 年度		3 年度		4 年度	
	人 員	金 額 (円)	人 員	金 額 (円)	人 員	金 額 (円)
老齢年金	695	327,068,108	549	254,276,663	430	196,071,059
通算老齢	426	89,628,337	329	68,407,581	268	52,998,146
老齢基礎	42,067	29,060,105,061	42,176	29,225,893,010	42,127	29,191,502,565
老齢年金 計	43,188	29,476,801,506	43,054	29,548,577,254	42,825	29,440,571,770
障害基礎	2,471	2,114,164,350	2,440	2,081,633,250	2,430	2,061,297,100
障害年金	87	75,238,625	76	65,400,375	68	58,529,450
障害年金 計	2,558	2,189,402,975	2,516	2,147,033,625	2,498	2,119,826,550
遺族基礎	267	204,657,825	277	213,403,343	275	207,952,054
寡婦年金	37	16,402,647	32	14,536,709	32	14,224,395
遺族年金 計	304	221,060,472	309	227,940,052	307	222,176,449
合 計	46,050	31,887,264,953	45,879	31,923,550,931	45,630	31,782,574,769
死亡一時金	35	5,376,000	29	4,622,000	15	2,342,000

○年金受給の状況

	5 年度		6 年度	
	人 員	金 額 (円)	人 員	金 額 (円)
老齢年金	358	165,215,270	299	140,081,037
通算老齢	206	41,368,538	164	32,853,654
老齢基礎	42,175	29,896,832,174	42,009	30,694,767,592
老齢年金 計	42,739	30,103,415,982	42,472	30,867,702,283
障害基礎	2,452	2,121,885,600	2,439	2,160,953,675
障害年金	63	55,294,650	55	50,050,600
障害年金 計	2,515	2,177,180,250	2,494	2,211,004,275
遺族基礎	256	198,609,007	246	195,976,143
寡婦年金	25	10,845,160	24	10,679,655
遺族年金 計	281	209,454,167	270	206,655,798
合 計	45,535	32,490,050,399	45,236	33,285,362,356
死亡一時金	24	3,705,000	(日本年金機構から情報提供 されなくなったため不明)	